

## 下野市図書館協議会 議事録

審議会等名 令和5年度 下野市第4回図書館協議会  
日 時 令和6年1月24日(水) 9時30分から11時30分まで  
会 場 下野市役所 2階 203会議室  
出席者 青木委員長、鈴木副委員長、大垣委員、松本委員、星野委員、高木委員、  
高橋委員、野口委員  
欠席者 下山委員、黒川委員  
市側出席者 (事務局) 根本課長、伊澤館長補佐、橋本主幹  
(指定管理) 和田総括管理運営責任者兼石橋図書館管理運営責任者、  
小畑国分寺図書館管理運営責任者、佐藤南河内図書館管理運営責任者

公開・非公開の別 ( 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開 )

傍聴者 0人

報道機関 0人

議事録(概要) 作成年月日 令和6年3月14日

### 議 題

- (1) 令和5年度図書館評価について
- (2) 利用者アンケート結果報告について

#### 【協議事項等】

- 1 開会<橋本主幹>
- 2 あいさつ

<青木委員長> おはようございます。元旦早々大変なことがあった。どんな年になるかわからないが、一年健やかに過ごせることを祈っている。本日は図書館評価とアンケートについて協議するので、協力をお願いします。

#### 3 議 題

- (1) 令和5年度図書館評価について

#### 【質疑等】

青木委員長 事務局から説明をお願いします。

事務局 説明の前に資料確認及び提出方法等について説明をする。

令和5年度図書館評価について(評価シート)により説明。

石橋図書館 令和5年度図書館評価について(評価シート)により説明。

国分寺図書館 令和5年度図書館評価について(評価シート)により説明。

南河内図書館 令和5年度図書館評価について(評価シート)により説明。

青木委員長 令和5年度図書館評価について質問のある方は挙手願う。

高木委員 システムが変わったためホームページのアクセス数が大きくなったとのことだが、以前と比較することができないということか。

事務局 そのとおりである。アクセス数には当市図書館ホームページに直接アクセスした数以外に、県立図書館の「県内図書館横断検索」を使って所蔵の有無を

検索した数も含まれるが、新システムでは分けて集計することができない。横断検索は図書館職員が他館の資料を探す場合も使用する。全館検索をかけるため検索数が増える。

- 青木委員長 他にあるか。
- 松本委員 2点ある。石橋図書館の2ページ『Ⅱ-1-2 小学校への読書普及活動の充実のオ』の“授業支援セット（団体貸出専用資料）”とは何か。
- 石橋図書館 教科書に載っている資料や産業・建物等テーマ別に資料を集めて、調べ学習等に使えるよう、セットで貸出できるようにしている。
- 松本委員 誰が選書し、何冊くらいあるのか。学校に周知はしているのか。
- 事務局 調べ学習用に使えるものを図書館スタッフと市職員（司書）で選んでいる。ひと箱30冊～50冊。学校にはリストを提供し、ひと月前までに知らせていただくように周知している。高学年向けは選書が難しいが、教科書に沿って少しずつ買い揃えている。現在7～8セットあり、毎年3～4セットずつ購入予定。
- 松本委員 承知した。2点目はWi-Fi環境の対応について。国分寺図書館の1ページに、“通常の学習席でも利用可能としたことで持ち込み機器を用いて自主学習する方が増えた”とある。他の館はどうか。
- 石橋図書館 電源が使えるのはパソコン専用席のみではあるが、その他の席でも持ち込み機器を使用することは全館可能である。
- 松本委員 タブレットやノートパソコンなら使用できると理解した。
- 青木委員長 他になければ（2）に移る。

## （2）利用者アンケート結果報告について

### 【質疑等】

- 青木委員長 事務局から説明をお願いします。
- 事務局 令和5年度下野市立図書館利用者アンケート集計表により説明。
- 青木委員長 アンケートについて質問のある方は挙手願う。
- 高木委員 質問の中にある“レファレンス室・コーナー”について、改めて各館どこのことを指しているのか。また、持ち込み資料で学習する人と図書館資料で調べものをする人の席は分かれているのか。
- 石橋図書館 石橋図書館は2階にレファレンス室がある。郷土資料や参考資料、館内閲覧資料等があり、その室内に学習席が設けてある。持ち込み資料で学習する人と図書館資料で調べものをする人の席は分かれていない。
- 国分寺図書館 国分寺図書館は2階の階段を上った反対側に郷土資料コーナーとレファレンス資料や郷土資料のコーナーがある。学習席とは別だがワンフロアである。
- 南河内図書館 南河内図書館は2階にレファレンス室があり、その中に郷土資料や禁帯出資料、参考資料と一部貸出可能な資料がある。
- 高木委員 理解した。問10の「エ」“資料（本・新聞・データ等を利用して調べものをする”と「オ」“レファレンス室（学習コーナー）で勉強や調べものをする”の違いがよく分からない。
- 事務局 普段来館者には「調べものか？持ち込み資料を使うか？」等は聞かない。どちらの目的で利用するかは利用者の判断に任せている。
- 高木委員 承知した。

松本委員 問6で1カ月の本の購入冊数を聞いているが、回答の区分設定で31冊以上は多過ぎではないか。むしろ最も回答の多い1～6冊の内訳を知りたい。

事務局 図書館基本計画や子ども読書活動推進計画を作る時の比較になるので、今までと変えるのは難しい。

松本委員 区分はこのままで1～6冊の所の内訳を細分することはできないか。

事務局 以前、図書館基本計画や子ども読書活動推進計画を作る時に、数字を書いてももらうことも検討したが、子どもに書いてもらうのは難しいだろうということでこのような形になった経緯がある。

松本委員 今回はこれで仕方ない。今後のこともあるので皆さんの意見も聞きたい。

青木委員長 皆さんはどう考えるか。

高木委員 問6で2を選んだ人にサブ質問として冊数を聞いてはどうか。全員に回答してもらえなくても傾向くらいはつかめるのではないか。

事務局 他市町のアンケートは5問くらいしかないが当市はだいぶ細かく、考えて書いていただくものが多い。次期計画作成時には今期との比較が必要だが、その後は簡素化も検討する必要がある。色々ご意見はあるかと思うが、しばらくは現状でご理解いただきたい。

松本委員 承知した。

高橋委員 この利用者アンケートの結果は非常に細かくっており、ニーズや実態が分かる良い資料と考える。この結果は市民に開示されるのか。

事務局 毎年2月～3月頃に図書館ホームページで公表している。

高橋委員 承知した。

青木委員長 他に質問や意見はないか。

大垣委員 アンケートではないのだが、国分寺中学校の生徒が国分寺・国分寺東小学校で読み聞かせをしており小中学生双方にとっても良い効果が出ていると考えるが、先程の評価には入っていない。この取組は国分寺以外でもしているのか。

事務局 元々国分寺地区の地域連携活動ということで始まったもので国分寺地区の活動は長い。南河内地区では南河内小中学校が開校したことで、後期の生徒と前期の高学年の児童が低学年の児童に読み聞かせをする活動が今年から始まった。石橋地区は未実施である。ボランティアが中心の活動なので実績報告には載せるが評価の指標にはなっていない。ただし南河内図書館は学校との連携の取組実績欄に書いている。

大垣委員 ありがとうございます。

青木委員長 せっかく南河内小中学校が開校したのだから図書館活動が発達すると思っている。図書館ではどう考えているのか。

事務局 学校との連携ということで担当教諭も交えて意見交換はしている。昨年まではコロナ禍の影響で思うように進まなかったが、これから色々働きかけをしていきたい。

青木委員長 ぜひお願いしたい。他に意見がなければ以上で議題はすべて終了とする。

4 その他

橋本主幹 その他として事務局からお知らせする。

事務局 次回協議会は3月21日（水）9時30分から、会場は同じく203会議室。

橋本主幹 事務局からは以上。委員の皆さんから何かあるか。  
松本委員 前回色々議論した電子図書については、今後どのように検討するのか。  
事務局 来年度も意見、協議を重ねる予定である。  
松本委員 前回の議論で勉強になった。その後自分なりに調べて簡単に拙速でやることではないと感じた。下野市のように小さな市に3つも図書館がある中で積極的に導入する必要があるのか、ユニバーサルデザインで考えれば理解できるが、コスト面等も考えると悩ましい。客観的に見て検討する必要があると考える。

5 閉会  
橋本主幹 以上で第4回図書館協議会を終了とする。